



やきもの大学講座



第1回 6/5(日) 話しきれない 東南アジア陶磁の魅力

鶴見大学教授 矢島 律子氏

東南アジアは海のシルクロード要衝に位置しており、東南アジア陶磁は中国陶磁の影響をうけ、15C~17Cには中国の代替品として西アフリカ東岸まで運ばれて、世界規模の陶磁器の一端を担っていました。

矢島講師はベトナムとミャンマーについて話され、特に発掘途中のミャンマーへの熱い想いを語られました。(24名参加)



第2回 7/2(土) 京都陶磁試験場と小森忍を中心に

愛知県陶磁美術館館長 佐藤 一信氏



京都市陶磁器試験場をスタートに、釉薬研究の道を生涯かけて歩んだ小森忍。

三種の辰砂の釉薬調整および焼成法の話。孔雀釉の話。小森忍に師事した小笠原長勝の釉薬研究ノートが不思議な縁で見つかり、その後様々な展開があった話。などなど研究者の視点で佐藤講師が興味深い話を盛沢山に披露してくださいました。(31名参加)

第3回 8/20(土) 瀬戸のやきものと中国陶磁

沖縄県立芸術大学教授 森 達也氏

講義内容：①日本出土の最古の中国陶磁 ②奈良三彩と唐三彩 ③越州窯青磁と猿投窯 ④瀬戸窯と中国陶磁 陶磁入門者の感想：神秘的で特別な色の秘色青磁、還元で焼く為のサヤ鉢の話も興味深かったです。日本有数の技術を持つ瀬戸窯で限られた技術の中での高級中国陶磁の模倣はシルエットを忠実に写し、紋様などはざっくりと独自の物に仕上げているそうです。(44名参加)



ご存じですか?
図書コーナー
担当：坂井

陶磁美術館一階の展示説明室に館の書籍と一緒に、NPO 法人会員の皆さまから寄贈された書籍が並んでいます。いつでもご自由にご覧ください。また、陶磁器に関する書籍の寄贈も受け付けております。皆さまからのお申し出をお待ちしております。 お問い合わせ：事務局 安藤まで

2022年度 後期予定

10/30 (日) やきもの大学 第4回 荒川豊蔵と桃山茶陶 荒川豊蔵資料館主任学芸員 加藤 桂子氏

11/5 (土) 茶会

11/9 (水) バス旅行(日帰り) 可児市ミュージアム見学



1/8 (日) やきもの大学 第5回 古代のやきもの(仮) 愛知県陶磁美術館学芸員 大西 遼氏

やきもの大学 第6回 未定

国立工芸館長

唐澤 昌宏氏

発行 : 「NPO 法人 やきもの文化と芸術振興協会」事務局

住所 : 〒489-0875 瀬戸市緑町 2-43

お問い合わせ: 電話 090-5850-6969(安藤) メール yakimono.bunka@gmail.com

ホームページ: <http://yakimono.bunka.jimdofree.com>

編集 K・A・M

